

要旨（主な提案・意見等）と対応方針

令和2年度 第2回都市計画策定市民会議 [R 2 . 1 2 . 1 5 書面開催]

項 目	提案・意見等	対応方針
全体	<p>ア 全体に第1から第2松本市の現況と都市づくりの課題は大変力の入った内容である。</p> <p>第3全体構想、4分野別の都市整備の方針以降はあまり中身を感じさせず表面的な部分をなぞった印象を受ける。</p>	<p>(ア) 第3全体構想、第4分野別の都市整備の方針についても、客観的な資料から課題を整理し、関連計画との整合を図る。</p> <p style="text-align: right;">〔資料2 p5～〕</p>
	<p>イ 以下の用語の使い方が曖昧な印象を受ける。</p> <p>【都市づくり、まちづくり、まちなみ、まち割り、地域づくり、にぎわいづくり】</p> <p>用語の定義を明確にした使い分けが必要だと思われる。</p>	<p>(イ) 用語の定義や使い分けについて、今後整理をしていく。</p>
	<p>ウ 語尾の表現の使い分けの明確な定義が必要だと思われる。以下の用語がランダムに出てくるため、政策の意気込みが伝わりにくい。</p> <p>進めます、促進します、目指します、図ります、推進します 検討します、努めます、行います、検討・推進します、整備・充実します</p>	<p>(ウ) 語尾の使い分けについては、実施主体（市、民間、官民連携、国・県）や、施策の熟度（調査段階、計画段階、実施段階）に応じて整理していく。</p>
基本方針や都市構造	<p>ア 放射状道路の起点が中環状線からとなっており、内環状線から中環状線間の放射状道路の機能や必要性がないように見える。放射状道路の起点は内環状線ではないか。</p>	<p>(ア) 内環状線から中環状線環も放射状道路の機能を有していることから、起点を内環状線に修正する。</p> <p style="text-align: right;">〔資料2 p10〕</p>
分野別の整備方針等	<p>ア 長野県において、区域マスタープランやグリーンインフラ推進計画、広域道路交通計画などの関連計画の見直しや策定を進めている。整合を図られたい。</p>	<p>(ア) 上位関連計画の見直し状況を踏まえ本計画に反映していく。</p> <p style="text-align: right;">〔資料1〕</p>
	<p>イ 田川沿いで浸水想定が5mとなっている場所もある。河川改修について全体的な促進が必要と考える。</p>	<p>(イ) 中心市街地の多くが浸水想定区域であり、ハード対策に加えソフト対策を検討していく。</p> <p style="text-align: right;">〔資料2 p20〕</p>
	<p>ウ 集落環境の保全として、長期間空家となっている建物への行政による対策が必要と考える。（動物の棲み処になり農作物の影響が懸念される。）</p>	<p>(ウ) 空家の発生予防対策として、地域コミュニティの維持が重要と考える。管理不全の空家への対策については、空家等対策計画に定めた具体的施策における対応を進める。</p> <p style="text-align: right;">〔資料2 p21〕</p>

項目	提案・意見等	対応方針
分野別の整備方針等	<p>エ 農業従事者の減少と生産性の低い中山間地の農地は荒廃し森林化が進み機能的にも景観的にもよくない。「必要な場合には、農地の他用途への転用を弾力的に検討します。」となっているが、林地への転用を促し里山森林整備事業と一体化して整備することをお勧めする。</p>	<p>(I) 自然環境の保全・育成の方針や産業集積に向けた方針（農林業）に森林の計画的な保全や活用を明記する。 〔資料2 p18、22〕</p>